

令和3年6月定例教育委員会 会議録

- | | | | | | |
|---|------|--|---|--|---|
| 1 | 日 時 | 令和3年6月25日（金） | 開 会 | 午前 | 9時30分 |
| | | | 閉 会 | 午前 | 11時00分 |
| 2 | 会 場 | 茅野市役所 8F 大ホール | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員
教育委員 | 山田 利幸
濱 勝之
勅使川原はすみ | 同職務代理者
教育委員 | 矢島喜久雄
永嶋 陽子 |
| | 出席者 | こども部長
こども課長
学校教育課長
文化財課長
教育総務係長
教育総務係主事 | 有賀 淳一
五味留美子
五味 正
五味 健志
春日 雅彦
小池 智也 | 生涯学習部長
幼児教育課長
生涯学習課長
スポーツ健康課長
生涯学習係長 | 北沢 政英
柳澤 澄子
田中ひろみ
伊藤 善彦
河西 茂廣 |
| 4 | 傍聴者 | 4名 | | | |

6 月定例会教育委員会次第

日 時 令和 3 年 6 月 2 5 日（金） 午前 9 時 3 0 分から
場 所 市役所 8 階 大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）行政財産使用許可申請について

5 検討事項

（1）本年度の台湾交流事業について

（2）総合教育会議の内容について

6 その他

（1）市議会 6 月定例会一般質問について

（2）市議会 6 月定例会議決結果について

（3）茅野市奨学金審査会委員の選出について

（4）茅野市子育て世代生活支援特別給付金（その他の子育て世帯分）
支給事業実施要綱等について

（5）茅野市子どもの居場所づくり実施事業委託団体について

（6）令和 3 年度尖石縄文まつりについて

（7）その他

次回定例教育委員会日程について

7月28日(水) 午前9時30分「8F大ホール」
(事務局会議 7月13日(火) 午前9時00分「701会議室」)

7 閉会

○教育長

只今から6月定例会を始めます。

前回5月の会議録について確認させていただきます。承認としてよろしいでしょうか。

○全委員

異議なし。

○教育長

報告事項に入ります。報告事項第1号をご覧ください。

1日に茅野高校の新しい校長先生、保育所保護者連合会会長さん、茅野美術協会会長さんにご挨拶に見えられました。

美術協会では、やはり新型コロナウイルスの影響で大きな展覧会を開くことが難しいとおっしゃっていました。作家の皆さんも展覧会が目標だとおっしゃっていただけに残念です。

また来年は開催できればと思います。

茅野高校の校長先生が新しく代わられて小一時間意見交換をしました。

内容としては、茅野高校には、ここ数年間茅野市内の中学生が非常に多く入学してくるため、中学からの引き継ぎ、義務と高校の連携関係を強化し、一貫した育ちを強化していきたいとおっしゃっていました。全く同じ考えです。

関連して24日には、育ちあいちの職員が4名ほど茅野高校に訪問して、茅野高校の校長先生、教頭先生、養護教諭との間で細かい情報交換をしてこれからもより協力関係を強化していく内容の話をしてくださったようです。育ちあいちのに県のSSWの河西先生が、週4日派遣されているという強みを生かして、茅野高校との関係づくり、一貫した子どもを育てる方策を今後作っていきたいと思います。

2日から議会本会議が始まりました。

5日の多留姫の里まつりは残念なことに2年連続で中止となりました。しかし、子どもたちのための体験活動はやってくださっており感謝です。

8日は1年ぶりに主任児童委員との方との懇談がありました。

11に日本生徒指導学会会長（中央教育審議会委員）の八並先生が来訪されました。感染症対策を万全にした上で、宮川小学校と長峰中学校の先生方に研修をしてくださり、今後も感染症に注意する中で、茅野市の子どもたちを育てるために、協力していくという確認ができました。

15日から17日は議会の一般質問でした。

18、22日は、報告の通りです。

23日主幹指導主事学校訪問がありました。永嶋委員さん、矢島職務代理さんありがとうございました。事前の会義でも話題になりましたが、やはりICTを用いた授業が軌道に乗り出して、1年前とは違った風景で時代が変わってきていると感じました。その中で、書くこと話すことの

体験活動、そしてICTを用いることのバランスはこれから大切にされてくると思います。

24日には玉川小学校のセカンドブックの手渡し会がありました。大変有意義なセカンドブック交換ができました。ただ残念なことは、通常時であればお家の方々の膝の中で本を読み聞かせしてもらっていましたが、小規模校の場合にはそれが可能でしたが宮川・永明・玉川・の大規模校の場合、お家の方の膝のなかで読み聞かせということはできず、子どもたち本当にかわいそうだったような気がします。

28日は公民館の運営審議会があります。

29は定期監査報告会、30日は地域経営会議があります。

報告第1号は以上です。

各課からの報告が終わり次第質問、意見等をお受けします。

報告第2号「各課からの報告」をお願いします。

○学校教育課長

1 ページをご覧ください。学校教育課の7月行事予定です。

5日月曜日に教育支援委員会からの答申があります。午後2時から教育長室ですので教育委員さんのご出席をお願いします。

6日火曜日は、午前中に宮川小学校、午後に泉野小学校の主幹指導主事訪問になりますので担当されている教育委員さんにご出席をお願いします。

16日の金曜日に同じく主幹主事訪問で午前中に湖東小学校、午後に永明小学校になりますので、よろしくお願いします。

20日火曜日については、午前中に永明中学校に主幹主事訪問となります。

25日日曜日は、English Day Campが青少年自然の森で開催します。例年ですと泊まりで実施していますが、昨年からの新型コロナウイルスの影響を受けまして、午前の部午後の部で参加者を分け、市内の小学校5、6年生を対象に行いますので、よろしくお願いします。

28日に水曜日定例の教育委員会が9時30分から市役所8階大ホールになります。

以上です。

○こども課長

2 ページをご覧ください。こども課です。

茅野市こども館の定例イベントについては感染防止対策をとりながら、密にならないようなイベントだけを実施していくということで調整しています。

以上です。

○幼児教育課長

3 ページをご覧ください。幼児教育課です。

9日金曜日に、6市町村が集まる令和3年度保育所一般保育士等研修会があります。

20日火曜日に、保育所運営審議会を開催します。

30日金曜日に、中堅保育士研修会を行います。

以上です。

○生涯学習課長

4 ページをご覧ください。生涯学習課です。

3日から学校開放講座が始まります。長峰中学校を皮切りに、17日玉川小学校が7月の予定に入っています。

同じく3日に親子でチャレンジ調べ学習講座を図書館で開催しますが、こちらも7月に全部で4回予定をしています。

10日は小泉山夏の植物観察会・オオムラサキ観察会があります。小泉山の行事は長らく中止していましたが、ここで観察会を実施する予定です。

28日は、茅野市人権教育推進委員会、29日は茅野市男女共同参画推進会議が予定されています。

続いて5ページの家庭教育センターをご覧ください。

おはなし会「えほんとなかよし」、遊びの広場「水遊びを楽しもう」、子育て支援講座等「か

らだであそぼう」が7月になり、外での遊びや取り組等の行事も感染症対策の関係を見ながら進めて参ります。

6ページ、図書館をご覧ください。

2日に第1回図書館協議会があります。

その他定例のおはなし会の他に15日には茅野高校図書委員さんによるわくわくおはなし会があります。こちらは先ほど教育長さんのお話にもありましたが、茅野高校の図書委員さんたちが図書館で、小さい子ども向けにおはなし会を予定しています。

30日は、夏休みクラフト講座の予定があります。

7ページ、公民館をご覧ください。

7月は【ロビー展】美術研究会「美研」、高齢者大学の講座を予定しています。

25日には縄文アート講座を青少年自然の森、尖石縄文考古館にて行います。

こちらの講座は、小学校4年生から中学生を対象に、京都芸術大学の先生ならびに尖石縄文考古館館長に講師をお願いしての講座となります。

7月の予定は以上です。

○文化財課長

まず8ページ尖石縄文考古館の予定ですが、18、21日から茅野縄文遺産市民ガイドの講義を始めていきます。講義に先立ち6月の20日、23日とガイダンスを行いました。現在のところ、34名の方が受講されています。

続きまして、9ページの八ヶ岳総合博物館神長官守矢史料館をご確認ください。

7月5～7日に、資料館の燻蒸作業のため資料館は臨時休館となりますので、よろしくお願いいたします。

その他予定していた講座等を実施をしていきます。

特に7月は22日から夏休み子ども教室を小学生を対象に予定通り行っています。

以上です。

○スポーツ健康課

それでは10ページをご覧ください。スポーツ健康課です

7月には、新型コロナウイルスの関係により開催を見合わせていた行事を再開させていただきます。

具体的には、3日からのひよこ教室（水泳）を全11回で10月の16日の終了を予定し開催していきます。

5日がひよこ教室（床）ですが、全10回で12月20日終了を予定し開催していきます。

また小学生エンジョイスポーツ教室は、全10回で5日から始まっています。

スポーツ推進委員会第4回の定例会は8日に予定しています。

以上です。

○教育長

ここまでで質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

教育長

今年度も、公民館それから総合博物館などが子どものために幾つかの講座開催してくださいます。

統一したチラシを現在総合博物館の方で作っていますが、子どもたちが様々な学びの場がある学びの多様性のための一つの方向として、今年度も公民館、総合博物館の講座を行っていきたいと考えています。

報告第3号「教育委員会共催後援」お願いします。

○生涯学習課長

生涯学習課では、5月26日から6月18日受け付け分といたしまして、9件の後援申請がありました。要領に基づき審査し承諾決定としました。

○スポーツ健康課

2ページをご覧ください。

スポーツ健康課では、第60回長野県中学校総合競技大会夏季大会（軟式野球）が中体連より共催申請、アイスホッケーの体験会ということで、諏訪湖ジュニアアイスホッケークラブやまびこパスターズから、後援依頼があり以上2件を承諾決定しています。

以上です。

○教育長

それでは共催後援関係について、意見質問ありますか。

○全委員

異議なし。

○教育長

議案第1号「行政財産使用許可申請」について、学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

議案第1号をご覧ください。

行政財産使用許可申請書が、楽天モバイル株式会社から出されています。

申請の内容は、学校用地を使用したいという内容です。

所在地は、茅野市玉川栗沢藤塚3595番地ー1です。使用する部分の面積について1平米ほどになりますが、使用目的は携帯電話の基地局を設置するという内容になっています。申請期間については13年の3月31日までの10年間です。

2ページをご覧ください。基地局の設置については、周辺住民に対し会社から説明をして同意をえている状況です。

3ページをご覧ください。設置場所の位置図になります。玉川小学校の道を東へ進んだダイナ楽器さんの手前の梅林の部分に1基、基地局を建てるということで、裏面に現況の写真とイメージ図がありますのでご参考にさせていただきたいと思います。

以上の内容で許可をしてよろしいかどうかご審議をよろしくをお願いします。

○教育長

質問も含めて、ご意見をお願いします。

許可が出次第、設置の工事に入るとのことです。

○永嶋委員

当資料の2ページ目を見ると、6月下旬頃までの工事期間になっていますが、現在はどうな状況でしょうか。

○学校教育課長

まだ許可は出していないので、予定としてはその時期を業者としては予定をしていたと思います。

○永嶋委員

当該地の梅林は、子どもたちと地域の方が梅をもいなり管理をしたりしていますので、工事に先立って連絡を小学校に密にいただければいいかなと思います。

○学校教育課長

ありがとうございます。

○教育長

矢島委員お願いします。

○矢島委員

設置予定地は、学校用地なのでしょうか。

○学校教育課長

市で所有している用地ですが、管轄としてそれぞれの課に振り分け行政財産として管理をしているような状況にあります。

○勅使川原委員

周りの住民の方々からその電磁波等々の意見がなかったならば、別段問題ないので認めてもいいと思います。

そのような問題は出ませんでしたか。

○学校教育課長

そのようなご意見は出てないとお聞きしています。

○教育長

学校とは距離が離れているので、現段階では電磁波と健康被害の問題まだ確立はされていない部分はあるが、離れているという認識でよろしいですか。

○学校教育課長

学校に影響がないと思われます。

設置の状況についても、会社にそのような影響がないということで設置自体には影響がないと考えています。

○教育長

他にご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

教育委員会としては認めていただくという方向でよろしいでしょうか。

工事期間中は、子どもたちはよくあそこ好きでいきますので、子どもたちの安全をお願いします。それでは議案は以上です。

検討事項1「本年度の台湾交流事業について」学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

検討事項1をご覧ください。

今年度中学校の台湾交流事業の計画案です。

例年、地域の子どもたちが台湾へ行き、台湾からこちらに来ていただく状況になっていますが、昨年から新型コロナウイルスの関係で相互間の渡航ができない状況になっているので、それぞれの学校でオンライン等を活用して交流をしています。

今年度についても、昨年と同様にそれぞれの文化を学び先方に伝えるような活動をしたいと考えています。

年間のスケジュールとしては8月頃までに参加する生徒を選出し、9月中に手紙を交えた交流、また10月から3月にかけてリモート等での交流を考えています。

現在の台湾の状況ですが、新型コロナウイルスの関係で台湾全域の中学校が休校になっています。6月の末までとお聞きをしていますが、そのまま学期末で夏休みになるということで、8月の末にならないと学校自体が動き出しませんので、実際の交流は9月に入ってから、具体的な話を進めていくような状況になっていますのでお願いします。

今後の見通しとしては、現在この事業は主に教育委員会が主導として動いているものですが、それぞれの学校が、台湾の中学校と姉妹校提携等を結んでいますので、各学校が独自の考えのもと姉妹校との交流を深めていくような事業に進めていければということで、現在検討を始めています。以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○勅使川原委員

今後の見通しで、各学校で交流をしていくという話あったが、次年度以降の市としての交流事業は無くし学校の裁量に任せるということでしょうか。

○学校教育課長

今までの事業をがらり変えるという意味ではありません。

教育委員会が主導として子どもたちを連れていき、台湾から生徒をお受けすることも一つの事業の中だと思いますが、先導をするものが教育委員会だけではなく、それぞれの学校がどんな活動をしたいのかということを踏まえて交流事業は継続をするということです。

○勅使川原委員

今後、例年行われている生徒が相互に行き来する交流事業を、学校側から要望があれば継続するが、そうでなければこの事業に関しては今後行わないという考え方なのでしょうか。

○学校教育課長

新型コロナウイルスの関係で相互に行き来する交流事業ができていないというのが現状です。

しかし、今後もやめてしまうという考え方ではありません。

状況として、今後の状況を見極めながら今までの活動を継続するのか、それとも新たな方法にするのかを改めて考えたいと思います。

○勅使川原委員

交流事業の今後の形態に関しては、新型コロナウイルス感染症の関係も踏まえて考えてくださるということで解釈します。

せっかく今までも続けてきた事業なので、子どもたちに様々な人と関わる中で広い世界を見せてあげることがとても大事だと思います。

○学校教育課長

ありがとうございます。

○教育長

昨年は1年間十分な交流できませんでした。

しかし、一昨年度までの様子見ると、学校の子ども達も独自で交流できるところまで力をつけています。なので、ぜひここで交流が途絶えるのではなくて、学校独自の計画で続けてくれたらと思います。

学校主導にすれば、昨年の永明中学校で縄文文化を生かした交流のような特色のある交流ができると思います。

次に検討事項2「総合教育会議の内容」についてお願いします。

○学校教育課長

検討事項2について資料はありません。

前回5月の定例会でもご意見等をお出しいただきましたが、8月の5日木曜日の午後3時から予定をしている今年度第1回目の総合教育会議の内容についてお話をいただければと思います。

前回については、この新型コロナウイルス感染症に関することに基づいて今後の教育や今後の支援について大まかなご意見等を出していただきましたが、より具体的にその会議でお話をするような内容をご意見いただければと思います。

○教育長

矢島委員お願いします。

○矢島委員

新型コロナウイルス感染症の影響で生徒が登校できず、リモート授業等の取り組みが非常に具体的になされており、言い方は悪いですがコロナのおかげでGIGAスクール構想に近づいた部分もあるかと思います。

今後、コロナ収束後にはどのようにGIGA構想、ICT教育をどのように進めていけばよいのかまた我々はどんなふうそれを支援していったらいいのか等を話題にしていきたいなと考え

ています。

○教育長

濱委員さんお願いします。

○濱委員

コロナ禍、コロナ収束後でどのようなICT教育を進めていくのかを、支援等を含めてお話を聞きたいです。

○教育長

永嶋委員さんお願いします。

○永嶋委員

新型コロナウイルスによる教育等への影響は大きな問題ではありますが、よく対応できていると思います。

しかし、コロナの影響で変化しているコロナ以外の様々な問題についても、出席される方には自分の立場に立って今後の対応についてご意見を伺いたいと思います。

○教育長

勅使川原委員お願いします。

○勅使川原委員

新型コロナウイルス感染症の影響により家庭環境が悪化していると聞いていますので、茅野市の貧困家庭の実態を数値として知ったうえで、市長部局と教育委員会で意見交換をし、今後どんな支援ができるかを考えていきたいです。

○教育長

こども部長お願いします。

○こども部長

今勅使川原委員さん言われました点ですが、今年の7月から調査をしていきます。

総合教育会議の時にはまだ結果が出てこないなので、もしその結果を見据えてということであれば、来年2月頃の総合教育会議の中で詳しく議題にできる思います。

ただ、その前段として市長を交えて、どういったことが考えられるのかというような形での意見交換はできると思います。

以上の点も踏まえて詳しい数字につきましては、次の総合教育会議でお示しできると思います。

○教育長

今後の義務教育関係では、1月の終わりに令和の学校教育という形でコロナ禍ポストコロナまでの学校教育の方向が文科省から出されています。

また先日、ポストコロナの学校教育の方向性が出されたわけですが、これは教育再生実行委員会から出されています。

そのような方向性の中で、茅野市の教育としてどういうふうに取り組んでいくかということ

が大きな課題になってくると思います。

昨年度は少し中断したわけですが、茅野市の教育の中心に生き方教育を進めていく。その中で、学びの多様性或いはICT教育は今まで取り組んでおり、方向自体は今回文科省でコロナ後の教育で出した方向に一致していると思います。

ただこの取り組みをどのように整理し、直していくかというのが課題になると思います。

私の方からは以上ですが、今後も細かい調整は入っていくということでよろしいでしょうか。またご意見をお聞きすると思いますのでお願いします。

続いてその他1「市議会6月定例会の一般質問について」こども部長さんお願いします。

○こども部長

その他1「市議会6月定例会の一般質問についてです。

本議会においては、通告で8名の議員さんから10問の質問をいただきましたが、実際はうち2問は再質問のみという形になっています。

それでは1ページをご覧ください。

まず伊藤玲子議員ですが、引きこもり支援についての質問は教育委員会の関係は再質問のみでした。

内容については、健康福祉部を中心としてご回答しています。

続いて伊藤玲子議員から「ヤングケアラーの支援について」質問をいただきました。

1点目が「ヤングケアラーの実態把握と認識について」ということで、ヤングケアラーはネグレクトにつながる事案でもあるため、茅野市要保護児童対策地域協議会において虐待案件として進行管理をしている。昨年度は、6名該当すると思われるケースがあった。

今年度、子どもの貧困対策の計画策定に当たり、生活実態調査を中学2年生を対象に行い、その調査の中にヤングケアラーに関する質問項目を設ける予定。また、国と同様に高校2年生を対象に調査の実施を予定していると回答させていただきました。

2つ目の「支援の現状と課題について」ですが、茅野市要保護児童対策地域協議会案件として福祉、介護、医療、教育等の関係機関と連携し、家庭をまるごと支援する体制を整え、適切なサービスを導入しながら定期的に状況確認を行っている。

今後、子どもの権利が守られているか、子どもが社会から孤立していないか、という視点も併せたアセスメントを行い支援していく。

ヤングケアラーについては学校を通じて把握されることが多いが、限界があるので、地域やこども食堂などとの連携が必須。定期的に情報交換の場を設けられるようにしたい。

さまざまな支援を提案しても家庭の同意を得られないことや、家庭の認識が改善しなければ解決につながらないなどの複雑さも有り課題も多い。と回答させていただきました。

3つ目の「複数機関との連携や研修等の支援体制について」ですが、今後、ヤングケアラー早期発見のためのアセスメントを併用しながら「子どもの権利が侵害されていないか」「どのような権利が侵害されているのか」を関係機関と共有し、それぞれの専門機関の役割を明確にしながらチームとして支援していく。

今年度は、児童相談所OB職員のスーパーバイザーを中心に、要保護児童対策地域協議会構成員や、学校職員を対象として、ヤングケアラーに関する研修会を予定している。研修対象者も計画的に広げていきたい。

国は、2022年度から2024年度までの3年間をヤングケアラー認知度向上の「集中取組期間」としている。市でも広報活動を行い、認知度向上に努める。と回答させていただきました。

続いては吉田基之議員から「子どもたちを取り巻く生活環境の課題への施作について」3点質問をいただきました。

1つ目が「通学区の今後の方向性について」です。

通学区域は、行政区単位で定められていることから、見直し等に関しては区民等による統一した見解が必要と考える。

就学すべき学校の指定については、入学する2ヶ月前までに教育委員会から保護者へ通知をし、転居や身体的な理由等の特別な事情がある場合は、「茅野市学校教育法施行細則」により指定校の変更や、市外への区域外就学を認めている。年間40件前後の変更等が認められている。

通学区域の見直しについては、児童生徒数の推移や、公共施設再編計画等に基づいた学校の維持、適正な規模等の検討を進める中で、具体的な通学区域の研究も必要となる場合があると考ええる。と回答させていただきました。

2つ目は「小学校、中学校の通学路の安全対策について」です。

主要な通学路の選定は、安全確保を優先として、学校ごとに通学路を定めている。通学路の安全点検については、各年度初めに学校職員及びPTA役員が参加して、現地調査を実施し、児童、生徒および保護者に周知を図っている。

また、平成27年に「茅野市通学路交通安全プログラム」を作成し、これに基づき年一回「茅野市内通学路交通安全推進協議会」を開催している。毎年この会議の中で、通学路の要対策箇所の施工状況、これまでの取組の成果、今後の対策について協議をして、通学路の安全確保に努めている。

その他平成30年に新潟市で発生した下校中の児童が殺害されるという痛ましい事件の発生をうけ、各小中学校による緊急合同点検を実施し、茅野警察署、長野県国道事務所、諏訪建設事務所、学校職員、PTA役員、建設課を招集し「通学路における防犯・交通安全対策会議」を開催した。この会議の中で、危険箇所の具体的な対策案を作成し、安全対策を実施した。と回答させていただきました。

3つ目は「中学生の自転車通学について」です。

今年度、北部中学校において自転車通学を希望する申し出があり、学校において条件等を熟考し、教育委員会と協議した結果、学校長の判断により通学を認めることとなった。現在のところ試行的な運用とし、状況を見ながら安全に通学ができるよう、継続的に検討を重ねることとしている。

他の中学校からは具体的な申し出は無いが、北部中学校の状況を参考にし、個別に実態を掘り下げ研究をしていく予定。

一定数の生徒が自転車を使用することとなった場合、道路状況に与える影響や、安全を確保できるのか、といった問題が生じる。冬期間をどのようにするのかも非常に難しい課題。

近年は交通量も増加し、安全に自転車で通学できる環境とは考えづらい。自転車通学を一定規模で認めるためには、安全安心な自転車通学ができる道路環境が整ってからが現実的である。と回答させていただきました。

続いて木村明美議員ですが、「茅野市における新型コロナウイルス感染症対策について」は教育委員会の関係につきましては再質問のみです。

危機管理室、市民環境部及び健康福祉部で回答をしています。

○生涯学習部長

続きまして生涯学習部関係では、竹内巧議員から「運動公園の健全経営に向けた取り組みについて」3点の質問いただいています。1点目として「運動公園が存在する目的と意義について」ですが、茅野市運動公園は、昭和48年都市計画事業認可を受けた都市公園。昭和53年第33回国民体育大会やまびこ国体の軟式野球競技会場として開園。

年間利用者数が毎年25万人を超え、多くの市民の利用があることから運動公園の設置目的は達成されていると考える。運動公園の存在目的は、現在も設置当初と変わりなく、併せ持つ都市公園機能も十分機能していると考え。多様化する住民ニーズの全てに対応できないが、現有する施設におけるサービス提供はできていると考える。と回答させていただきました。

続いて2つ目の「費用対効果と市民のニーズについて」ですが、令和元年度年間施設利用者は、29万1,731人でその他公園を利用する方も含め大勢の利用がある。

運動公園の令和元年度支出決算額は、ハード整備費が約1億6千7百万円、スポーツ振興費も含めると約2億2千万円を要し、施設使用料収入額は約3,200万円。運動公園は、誰もが使いやすいスポーツ施設、楽しめるスポーツ環境が求められ、市民の憩いの場、防災拠点施設の役割も担うため多機能な施設整備が必要。一方豊かな自然に囲まれ、日本リス等小動物が生息し、希少植物もあるため、相反する施設整備と自然保護が求められる公園でもある。

運動公園利用者は千差万別で、投資費用の効果検証が大変難しい。施設収入で運動公園全体にかかる費用が賄えないことは明白。厳しい市の財政状況で老朽化が進む施設を改善しなければならない現状である。

スポーツの多様化で市民ニーズの把握も大変難しく、多くの利用により施設の改修等要望が多数ある。市民アンケートでの反応等から一定の評価があると分析する。

スポーツ施設は、今後存続させる施設を機能維持する修繕改修を行うことに軸足を置き、利用がないものは廃止の方向で、「茅野市公共施設再編計画」及び「茅野市運動公園体育施設中長期改修計画」による施設整備を進める。と回答させていただきました。

3点目の「指定管理者による施設管理について」ですが、現在、スケートセンター、ゴルフ練習場、プールの3施設は指定管理者制度を導入している。特にスケートセンターは、製氷等特殊な技術を持った民間業者による管理運営が適切であると考え。

プール管理運営は、平成28年度委託業務から指定管理業務に切り替えた。春期から秋期はゴルフ練習場、夏期はプール、秋期から冬期はスケートセンターを、通年で一体的かつ安定的な施設の管理運営が可能で、年次計画で管理運営が行える。指定管理業務は人員や券売機などの附帯設備の共有で費用削減が期待できる。

公共施設はその性格上、利用料金だけでは採算が取れない。利用料金による施設の管理運営は大変難しいので、指定管理料と併せて経費を賄ってもら。指定管理制度導入で、利用料金を指定管理者収入とし、経営努力によって指定管理者の収入増となるインセンティブを与えている。指定管理者の施設経営が黒字化に向かうためには、与えられた条件下で経営努力による利益追求の方策を見出すことだと思う。と回答させていただきました。

○こども部長

5ページをご覧ください。両角実晃委員から「永明小中学校建替による社会体育館の活用方法について」2点質問をいただきました。

1点目は「社会体育館の建替規模について」です。こちらは建替えにおいては、「社会体育館」と「アリーナ」の2棟の体育館を整備する。社会体育館は主に中学生、アリーナは主に小学生が使用することを想定しているが、必要に応じどちらの体育館も有効に使用していく。

両体育館とも、バスケット、バレーが各2面、バドミントンが6面取れる広さとしている。ただし、日本バスケットボール協会が主催する大会のコート規格の場合は1面、バレーボール及びバドミントンの場合、それぞれの協会が主催する大会の場合、都市計画法による高度地区の指定で、建築物の高さの最高限度が15mと定められているため、天井の高さが規定値に足りない。しかし、児童生徒の授業や地域の団体の使用にあたっては、用途に適した場所が確保できていると考える。

また、両体育館とも、体育の授業の他学校行事や集会、地域の方への貸し出しも可能な施設としている。

なお、誰もが使いやすいユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設となるよう計画し、出入口、通路の幅の確保、段差の解消、様々な利用者に応じたトイレ設備の設置等について詳細設計を進めている。と回答させていただきました。

2点目は「建替後の活用方法について」です。こちらは、社会体育館は、地域の方の利用も想定している。基本計画で掲げた設計の基本方針「地域とのつながりを大切にしたい学校」に基づき、校舎や体育館の地域での利用を見据えている。スポーツだけの貸し出しに限らず、地域のイベントや集会、展示会など様々な用途で利用していただき、地域の核としての施設としていきたい。

ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮した施設とすることで、誰でも使うことができる施設としいく。

また、両体育館とも基本避難所として使用し、特に社会体育館は、ちの地区コミュニティセンターに隣接し、両施設が連携しながら避難所を運営していくことが考えられることから、より充実した避難所機能を整備していく予定。停電時に照明やコンセントが使用できるように非常用発電機の設置や、煮炊きができるようにガスバルクの設置等を計画している。と回答させていただきました。

続いて木村かほり議員から「子どもの声を聞くアドボカシーの取り組みについて」です。

1点目は「現在届いている子どもの問題について」で、令和2年度に育ちあいちので受けた相談延件数は、5,699件。令和元年度に対し、1,075件の増加。相談種別では、養護相談が1,360件、児童虐待が1,202件、不登校が1,103件、性格行動が763件が主な相談内容。

養護相談中では、心理的虐待が約68%、身体的虐待が約22%、ネグレクトが約10%、性的虐待は該当なし。と回答させていただきました。

2点目は「子どもの声を聞く現在の体制について」です。こちらは育ちあいちのでは、子どもに寄り添い、子どもの思いを聞くという姿勢と迅速な対応、信頼関係を築くことを大切にしている。

昨年度の新型コロナ感染対策による学校休業後の再開時や今年度の市内感染拡大の際には、各学校にSSWと臨床心理士を学校に在中させた。また、電話相談についても受付時間を延長した。

平時においては、保健室を中心として、体罰・セクハラ・悩みごとの相談を受け、また校長室や特別支援教諭等、誰もが相談を受けることができる体制となっている。さらに、県のSCの訪問、育ちあいちののSSWの訪問等、相談を実施していると回答させていただきました。

3点目は「子どもアドボカシーへの取り組みの可能性について」です。

令和元年児童福祉法改正法では、施行後2年を目途に、「児童の措置の在り方について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずる」とされており、国はアドボカシーに関連する制度の構築に向け調査研究をしている。

アドボカシーは、児童相談所等において、子ども自身が実現したいことを考え、それを周囲に表明できるように支援することを基本とした子どもの意見表明支援員で、児童相談所等とは異なる立場の弁護士や医師、心理職などの高度な専門性を有する者がその職にあたる考えられている。

これとは異なるが、育ちあいちのを中心とする専門職の職員が子どもの意見を尊重し、最善の利益が優先されることを常に念頭におき支援を行うことを大切にしている。

現在、県等が主催する研修メニューの中には、アドボカシーを題材としたものはないが、各種

研修内容を職員同士が共有し、相談者の資質向上に努めている。

また、子どもからのメッセージを傾聴し、その内容を具体的に把握するという取り組みは相談・支援に必要とされることでもあり、今後も意識して取り組んでいきたいと回答させていただきました。

続いて7ページをご覧ください。

同じく木村かほり議員から、「生理の貧困への取り組みについて」2点いただいています。

1点目が「生理用品の配布の実施について」です。

4月16日に東京でNPO法人を運営している方から、ちの地区こども館宛てに、生理用品の寄贈があり、現在地区こども館に置き、困った時に使えるように活用させていただいている。

現在茅野市社会福祉協議会が主体となり、市民の皆様から生理用品の寄附を募り、お困りの方に、無償で配布する取組みを実施している。

その他に今年度、市の事業として子どもの居場所づくり実施事業を民間の子ども食堂等を実施している団体に委託して行うが、事業内容の1つとして、衣住などの生活支援を掲げており、その中で生理用品の配布を実施可能としている。

このような取組みの中で、支援を大切にしていきながら、配布を通じて、困りごとの相談を行ったり、繋がりを作るきっかけとし、次への支援に結びつくことを期待していると回答させていただきました。

2点目は「学校での配布について」です。

小学校では4年生の保健の授業で初経指導を行う際に、養護教諭が試供品を配布し、説明するとともに、心配なことや、必要となった場合等には保健室で対応ができることを伝えている。

生理用品については、小中学校ともに、保健室に常備し、児童生徒からの申し出があった場合に養護教諭が対応している。小学校では多い学校で月に1人から2人程度、中学校では月に数名が訪れるが、定期的に訪れる状況にはない。

保健室では、児童生徒の身体や心の状態などを知る機会として捉え、気兼ねなく相談できる環境を作っている。必要な場合には気軽に申し出ができる丁寧な対応を行っている」と回答させていただきました。

続いて、伊藤正陽議員から「新型コロナウイルス感染症対策について」項目は次ページにわたって5点ありますが、教育委員会に関連しての質問については、1点目「子どもが感染した時の学校や保育園等の対応について」です。

保育園や小中学校で子どもの感染が確認された場合は、その子どもの発症した時期、登園・登校した際の行動状況や疫学的調査等により濃厚接触者等が確認され、必要なPCR検査が実施される。

今回感染が確認された際には、保健所により保育園においてはクラス全員が、また、小中学校においては、濃厚接触者の他に接触者にまでPCR検査の対象をいずれも通常以上に広げて実施していただいた。現状においては、十分にPCR検査が実施されている状況であり、保健所の実施以上にPCR検査を市で実施する事は考えていない。

なお、保育園、小中学校における陽性者・濃厚接触者の発生は、校外から持ち込まれた感染と考えられている。保育園、小中学校では、引き続き感染防止対策を徹底して行っている。また、各家庭には、子どもに発熱等ある場合には、自宅での休養のお願いと、同居の家族に発熱等がある場合にも、登園、登校を控えていただく等のお願いをし、園内、校内に新型コロナウイルスを持ち込まない対応を実施している。

お陰で園児同士、児童生徒同士の感染は、確認されていない。これも一重に各ご家庭のご協力があっての事と大変感謝している。

今後も保健所の指導の基、連絡を密に連携して、園児、児童生徒が安心して園、学校で過ご

せるよう対応していくと回答をさせていただきました。

○生涯学習部長

最後、望月克治議員は「公民館活動や市民活動を活発化することについて」4点の質問いただいています。

質問内容の回答ですけれども、1点目と3点目、2点目と4点目をそれぞれ合わせて回答させていただきました。

コロナ禍での公民館、市民活動センターの取り組みについては、中央公民館は、「集う、学ぶ、結ぶ」を合言葉に、場の提供と学びを支援、人々の交流を大切にしたい取組をしている。市民活動センターは、「であう、つながる、創造する」を合言葉に、まちづくりの拠点として、様々な分野の市民活動を応援し、まちの元気を創出する取組をしている。

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の閉館で、様々な団体やサークル等、市民の活動が難しくなった。現在、警戒レベルによるガイドラインに従い、感染予防対策を徹底し、貸館や講座の開催を行っているが、活動と自粛が繰り返される状況。中央公民館や市民活動センターに利用団体や地域から不安の声が寄せられている。両施設とも市民の不安を軽減し、元気が取り戻せる事業に取り組んで来た。

昨年度の事例として、中央公民館は15講座を開催し、新たな試みではビーナチャンネルの活用で折り紙やピラティスの講座を動画配信した。地域の役員対象とした分館職員研修会は、開催自体を中止し、基調講演『コロナ禍における公民館活動』等の収録DVDを作成し、公民館活動に役立つ資料と共に各分館に配布して、分館単位研修を支援した。

地域で、地域のつながりを大切にしたいという思いから、工夫を凝らした活動報告がある。悪疫退散祈願花火の打ち上げ、区民にメッセージとしてLEDキャンドルの文字づくり等。コロナ禍でもできることを見出し、新たに工夫をした事例であり、地域における長年の公民館活動から生まれた市民の力、地域の力であったと回答させていただきました。

市民活動センター以下は市民活動の関係になりますので割愛します。

2、4点目の今後の中央公民館、市民活動センターの活発化の検討されているかという点については新型コロナウイルス感染状況は、変異株の発生等日々変化している。市民が安心して施設利用できるには、感染防止対策の徹底と、感染予防の情報発信に努めることである。事業の内容を変えたり、新たなやり方に変えたり、活動をする地域や活動団体もあり、その活動紹介により活動再開に悩む他団体の活動につなげたいと考える。

本年度、中央公民館は高齢者大学の入学者は71名。定員を例年より減らし、分散開講にする等、やり方を工夫したことで公民館を利用したことがない方々の入学が増えた。

市民活動センターは、新たなWi-Fi環境を整備し、オンラインでの講座開催だけでなく、市民活動に活用される場面が増えている。市民活動センターの整備環境をフルに活用して、遠隔地にいる講師と自宅参加者をつなげる、ハイブリッド形式により参加者をオンラインと対面でつなげる「親子で触れ合うワークショップ」などがある。

市民活動は、人と人とが直接つながる対面活動は大切なことと考える。新たな活動方法の一つとして、インターネット等のデジタル利用も進め、それに伴う技術的支援など、活動者の悩みが軽減できる対応をすること。

地域の元気づくりのため、市民の力が重要な役割を果たしている。中央公民館、市民活動センターでは、活動者の不安に寄り添い、人と人とが出会いつながる場所としての機能を発揮し、豊かなまちづくりの大切な部分を担う公民館活動と市民活動を支援したいと考える。コロナ禍の状況は、マイナス面ばかりではなく、今までの活動の意義や方法を見直し、変化、進化させるチャンスでもある。コロナが収束し平常に戻ったときは、新しい公民館活動、市民活動によって地域の元気が醸成されるよう、コロナ禍の活動を支えたいと考えると回答させて

いただきました。

○教育長
質問ありますか。

○全委員
なし。

○教育長
続いてその他2「市議会6月定例会議決結果」について、こども部長お願いします。

○こども部長
その他2の資料をご覧ください。
6月定例会議に議案11件、陳情3件が上程されました。
市側から出された議案については、すべて承認または可決をいただいています。
教育委員会に関連するものとしては、議案第26号、27号、28号、32号及び議案第33号の5本です。
5本すべて専決処分の承認を求めることについてで、教育委員会に関連するものは5本です。
以上です。

○教育長
質問ご意見ありますか。

○全委員
意見なし。

○教育長
その他3「奨学金審査会委員の選出について」学校教育課長お願いします。

○学校教育課長
その他の3の資料をご覧ください。
茅野市奨学金に関する条例第8条第6項の規定により、審査会委員の選出を行うものです。
委員の任期については条例で2年となっていますが、ここで任期が満了となりますので委員の委嘱の提案をさせていただきます。
継続の方が6名、新規の方が7名の計13名となっています。
提案の内容でよろしければ本会でご承認をいただき市長から委嘱をさせていただきます。
ご審議をよろしくお願いします。
以上です。

○教育長
質問ご意見ありますか。

○全委員
なし。

○教育長

教育委員から矢島委員さん、勅使川原委員さんが新規で委員になってますのでよろしくお願いします。

次にその他4「子育て世代生活支援特別給付金について」こども課長お願いします。

○こども課長

その他4の資料をご覧ください。

資料の綴りが逆になって申し訳ないですが、5ページからご覧ください。

先月の定例教育委員会において、茅野市子育て世帯生活支援特別給付金におけるその他の子育て世帯分については概要を説明いたしましたでしたが、要綱が定まりましたので内容を簡単に説明いたします。

主な条項のみ説明いたしますが、第1条については、給付金の目的を記載しています。

第2条は用語の定義について記載しています。

第3条については支給対象者についてで、第3条の第2項については養育要件について記載し、第3項については所得要件について定めているものです。

第4条については、給付金の支給等ということで対象児1人につき5万円の支給ということと、対象児童の年齢等について規制しています。

第5条については、児童手当等の受給者と非課税者に対する支給ということで、積極支給者として申請不要な方について定めている条項です。

第6条については、申請が必要な方の支給の方式について定めているものです。

第7条については、申請による支給について定めているもので、8条で申請の受け付け開始とその申請期限について定めています。

申請に関しては、令和3年7月1日から、令和4年、2月28日までの間とすること。

ただし、令和4年3月の児童手当の受給者等については、受付け期間の申請を令和4年3月15日までということで、定めているものです。

また、この公示については公布の日から施行するということで、令和3年6月21日からの施行と、定めています。

続いて10ページですが、ひとり親世帯分の実施要綱の一部改正ということで、改正をしています。

こちらについては、第2条の支給対象者に4号が追加をされたものの改正です。

改正理由ですが、その他の世帯分の実施要綱の施行に伴い重複支給を避けるためにこちらの4号の条文を追加したものになります。

あわせて、11ページの申請書の様式の下の枠の上から2段落目に茅野市子育て世帯給付金その他の子育て世帯分の受給済みではありませんというチェック項目を加えさせていただいた改正となります。こちらについても、公布の日から施行ということで6月21日付に告示をさせていただいて施行になります。

説明は以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他5「子どもの居場所づくり実施事業委託団体について」こども課長お願いします。

○こども課長

その他5の資料をご覧ください。

こちらの事業についても、先月の定例教育委員会で事業実施の報告をいたしました。

委託団体については、茅野市プロポーザル方式実施要綱に準じて公募を行い審査委員会において審査を実施した結果、こちらの3団体が決定しましたので報告します。

団体は、特定非営利活動法人信州協働会議、ほんわか食堂季の実、そしてアトリエもももの3団体と決定しました。

履行期間は、どの団体についても令和3年7月1日から令和4年3月31日までの間とします。

実施場所については、それぞれの団体の拠点になる場所とその他の場所ということで、資料に記載していますので、それぞれご覧ください。

実施事業ですが、3団体とも市が示した5項目すべてを実施していただけるということで実施内容についても資料に記載していますのでご覧ください。

現在茅野市では、7月1日からの事業実施に向けて委託契約等の事務処理を進めているところです。

以上です。

○教育長

質問意見ありますか。

勅使川原委員お願いします。

○勅使川原委員

学習支援をしていただける各団体のスタッフはどのくらいずついらっしゃいますか。

○こども課長

詳しい人数は、現在資料が手元にないので分かりませんが、それぞれ実施計画書を上げていただく中で団体員数、有資格者についても名簿の提出をお願いしています。

聞き取りの中では、十分な人数の中で対応できると判断しました。

今回支払う委託経費が125万円という形ですが、こちらはスタッフに対する賃金、謝礼としてボランティア活動としてではなく関わっていただいた方にお金を支払うことでより多くの方にスタッフとして関わっていただくということで計画をしています。

○勅使川原委員

きめ細かく丁寧な支援を子どもたちに対してやってもらいたいのので、そのお金が食糧費等にも使われると思いますが、夏休みに入り大勢の子どもたちに対してスタッフの人出が足りていないようでは心配だと感じたので質問させていただきました。

○こども課長

実際に事業が始まりましたら市としても視察をしたり、月に1回は報告をいただく中で懇談を設けたり等の事業者同士の連携や情報共有もしていきながら、この事業を進めていきたいなと思っています。

○教育長

他に質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

続いてその他6「令和3年度尖石縄文まつりについて」文化財課長お願いします。

○文化財課長

その他6令和3年度尖石縄文まつりの資料をご覧ください。

市長教育長出席のもと、6月10日に、尖石縄文まつり実行委員会が開催され、10月10日に予定していた令和3年度尖石縄文まつりについては、新型コロナウイルスの終息が見通せないため中止することが決定されました。

また令和4年度以降については、これまでのイベント型ではなく縄文文化を深く知ってもらう場にしていくように、今後協議をしていくこととなりました。

参考として、資料3ページの新聞記事等をご覧ください。

なお、予定していた尖石縄文文化賞の授賞式、また縄文文化大学講座は予定通り開催をしていきます。

また平成12年7月に開館した現在の尖石縄文考古館の開館記念で20年後に向けた市民のメッセージが入っていると見られるタイムカプセルの開封を予定しています。

資料の5000年祭記念タイムカプセルについては、縄文まつりをはじめこれからの縄文を生かしたまちづくりの参考になると思いますのでご覧いただければと思います。

説明は以上です。

○教育長

質問意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他6のメッセージは時間あったらお読みください。SDGsの考え方はすでに入っていると思います。

次に、「生理用品の寄附募集のご案内について」こども課長お願いします。

○こども課長

お手元に支援用品の寄付の募集のご案内というチラシを配布させていただいていますが、先ほどの一般質問の回答の方でもさせていただいた内容で、茅野市と茅野市教育委員会、茅野市社会福祉協議会では市民から生理用品の寄付を募り、市民及び市内に暮らす方々で経済的な理由等により生理用品を購入できない等、お困りの方に無償で生理用品配布する活動に関わって現在寄附を募集しています。

受付期間は、6月10日から6月30日までの期間ですが、これ以降についても随時受け付けはさせていただきます。

寄付の方法は、社会福祉協議会、こども課まいさが茅野市、各地区コミュニティセンター、またはサービスセンター、家庭教育センター茅野市こども館で寄付をお預かりしますのでご報告させていただきます。

○教育長

他に連絡等ありますか。

最後に事務局お願いします。

○教育総務係長

次回7月の予定を報告させていただきます。

定例教育委員会を、7月28日の水曜日午前9時30分から8階大ホールで行います。

事務局会議の方については、7月の3日の火曜日、午前9時より701会議室で行いますのでお願いします。

以上です。

○教育長

以上で6月定例会終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和3年7月28日

茅野市教育委員会

教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長